教育家庭新聞

2018年（平成30年）

9月17日

月曜日

第2135号

長月・玄月・菊月

彼岸入り（9/20）
秋分の日（9/23）
寒　露（10/8）

第3月曜日発行

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309−53693
購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　http://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月　©教育家庭新聞社　1部 450円

紙面案内

学校図書館特集……2・3面
第41回全国学校図書館研究大会　富山・高岡大会が開催された。「主体的・対話的で深い学びの実現」をはじめ多面的な学習目標に結び付けることができる図書館の活用と環境づくりについて、全国からの事例が集められた。

教育旅行特集……4・5面
教育旅行や体験学習に向けた教員セミナーや見学会などが行われ、豊富な情報が発信された。資源として何度でも再利用できるスチール缶のリサイクル現場を巡る教員対象の視察会では、授業でリサイクルの大切さを伝えたいという熱心な教員が参加した。

学校保健……6面
西日本豪雨をはじめ自然災害が続いているが、学校現場における防災教育と、教職員の防災研修などについて、防災教育推進協会が全国の教育委員会を対象に調査を行った。

学校給食・食育……7面
栄養バランスを考える学習アプリ「スケッチクック」の体験授業が実施された。描いた料理の絵がリアルな画像とレシピに変換されるので、子供たちは夢中になって取り組んだ。

「いじめ」へ保護者の本気度……8面
新潟県で開催された日本ＰＴＡ全国大会・特別分科会では、日本ＰＴＡ全国協議会が昨年度・仙台大会に続き開設した特別分科会で「いじめを見過ごさない」という保護者のメッセージを発信した。会場での議論を報告する。

連載
教職員のメンタルヘルス　第52回…1面
学校給食は食育の教材　第45回…7面

■Twitter
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

未来型教育の実証へ

文科省2019年度予算に13億円

第5期科学技術基本計画の中で提唱された基本方針「Society5・0」の実現に向け、AI技術の利用により子供たち一人ひとりに応じた未来型教育テクノロジーの開発・実証などの推進事業として総額13億円にのぼる新規事業を、文部科学省は8月30日に発表した2019年度概算要求に盛り込んだ。

Society5.0の社会像

◆定型業務や数値的に表現可能な業務は、AI技術により代替可能
◆産業の変化、働き方の変化

＜求められる力＞

●文章や情報を正確に読み解き対話する力
●科学的に思考・吟味し活用する力
●価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究心

＜求められる人材＞

■技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材
■技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材
■AIやデータの力を最大限活用し展開できる人材

文科省全体の2019年度概算要求は5兆9351億円（18年度比11・8％増）。このうち「Society5・0に向けた人材育成」として新たに総額13億1700万円が盛り込まれた。次の4事業からなる。

「学校における未来型教育テクノロジーの効果的な活用に向けた開発・実証推進事業」には7億円を要求。学校現場と企業等の協働で未来型教育テクノロジーを開発。原則4年間で「個別に最適化された学び」、支援が必要な児童生徒の早期発見、教員の指導力の分析による「資質能力の向上」などの戦略的な開発・実証を想定する。

「先端技術を活用した幼児教育分野の実証研究」（要求5000万円）は、IoTカメラや顔認証技術といった先端技術を活用して園内環境や幼児の行動、教師の関わりを多角的に可視化し、教師の適切な指導を支援する取組。大学・研究機関と協力園が連携し、成果を広く共有する。

「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」（要求1億6700万円）は、高校と大学・国際機関等が共同で、高校生により高度な学びを提供する仕組みを構築する。テーマ等を通じた高校生国際会議などを開催する10校程度の拠点校を配置。WWLコンソーシアム拠点校として指定期間は原則3年。

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」（要求4億円）は、Society5・0を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進する事業。高校が自治体や大学、産業界と協働してコンソーシアムを構築、地域課題の解決といった探究的な学びに取組むことで地域振興の核としての機能を期待する。専門学科中心で10校程度の「プロフェッショナル型」、普通科中心で20校程度の「地域魅力化型」、学科共通の20校程度の「グローカル型」を想定する。

閣議決定である同方針を受け、文科省は今年6月5日「Society5・0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる」にまとめ、取り組むべき政策を①「公正に個別最適化された学び」を実現する多様な学習の機会と場の提供、②基礎的読解力、数学的思考力などの基礎的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得、③文理分断からの脱却、という3つの方向性として提示した。

■専門スタッフ拡充

また学校の働き方改革や新学習指導要領の実施のため、19年度は教員定数改善に56億円（2615人）を増加計上。専門スタッフ、外部人材の拡充には、スクールカウンセラー配置を小中学校全校に拡充。

卒業生の保護者などが教員をサポートするスタッフは3000人から3600人に増員。新たに元教職員や地域人材を副校長・教頭サポートとして勤怠管理や電話・来客対応にあたるスタッフ400人分を計上した。

「Society5・0」とは

IoT、AI、ロボットを中心とした先端技術によって、少子高齢化や環境問題などの課題を解決しようという、日本政府が提唱する科学技術政策の基本指針の一つ。狩猟社会（Society1・0）、農耕社会（Society2・0）、工業社会（Society3・0）、情報社会（Society4・0）に続く人類史上5番目の、超スマート社会（Society5・0）。

2016年閣議決定した第5期科学技術基本計画に、我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。「超スマート社会」とは「サイバー空間と現実世界とが高度に融合した社会」であり、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会」と定義。

施設整備費2432億円
今年度当初の3・6倍に

文部科学省は公立学校の耐震化・防災機能の強化等のための施設整備費として、2019年度概算要求で2432億円を計上。18年度当初予算（682億円）の3・6倍にのぼる。

自治体に対して国は費用の3分の1を補助するのは従来通りだが、さらに建築単価は資材・労務費の上昇分を考慮し3・9％増額。小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合1㎡当たりでは前年比7300円増の19万4500円となる。

学校施設は子供たちと地域住民の健康と安全を守る場としての役割もある。小中学校の普通教室へのエアコンの普及状況は全国平均49・6％で半数にとどまっている。猛暑だった今年は熱中症の発生が増え、死亡事例さえ起きている。また6月の大阪北部地震では児童が学校の塀の倒壊に巻き込まれて死亡する事故などが続いたこともあり、学校の安全な環境を求める声は大きい。

予定する主な整備内容は次の通り。

▽近年の厳しい気象条件に対応した教育環境を確保するための空調設備▽ブロック塀の倒壊防止等の安全対策を支援▽災害時の避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化（トイレ改修等）▽学校施設耐震化の完全達成に向けた支援▽給食施設設備等を推進▽長期間の使用（80年以上）を前提とし、将来の財政負担の縮減と老朽化による危険性のリスクを軽減するため、致命的な損傷が発現する前に実施する計画的・戦略的な改修を推進。

学校施設の耐震化率
小中学校は99・2％

公立学校施設の耐震化率が平成30年4月1日現在で98・9％、体育館の吊り天井等の落下防止対策は97・2％が対策済みであることが、文部科学省から8月末発表された「公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査」の調査結果から明らかになった。

子供たちの日常生活の場であるだけでなく、災害時には地域住民の避難場所としての機能も担うのが学校施設であるため、文科省は自治体への耐震対策の推進を図るとともに、今後も継続してフォローアップに取組むという。

学校種ごとの耐震化率では、特別支援学校が99・4％で最も高く、小中学校が99・2％、高校が98・2％、幼稚園が94・6％だった。落下防止対策でも同様に特別支援学校が98・5％で最も高く、小中学校が98・2％、高校が93・2％、幼稚園が94・7％だった。

都道府県別に耐震化率をみると、小中学校で最も低かったのは沖縄の91・4％、次いで富山95・3％、愛媛同、北海道95・8％、福島同、広島96・8％、山口同、島根97・1％、高知98・5％、石川98・8％だった。

学校施設の耐震化状況

単位：％

	耐震化率			吊り天井落下防止対策実施率		
	H28	H29	H30	H28	H29	H30
小中学校	98・1	98・8	99・2	95・0	97・1	98・2
幼稚園	91・0	92・9	94・6	88・3	90・1	94・7
高　校	96・4	97・9	98・2	89・8	91・8	93・2
特別支援	99・1	99・4	99・4	95・7	98・3	98・5
合計	97・6	98・5	98・9	93・9	96・1	97・2

連載　解決への手法と周囲の心得

日本教職員メンタルヘルスカウンセラー協会

教職員のメンタルヘルス　第52回

日常で休む時間確保に努める

Q1：行事の重なる季節。忙しい中でもできる日常のメンタルヘルス対策、ヒントを教えてください。

忙しい時期こそ「意図的・計画的・具体的」に、心と体を休ませる時間を組織として設定することが必要です。例えば、体育祭予行日反省会後に〝反省会の反省会〟として30～40分程度の簡単な懇親の場を設定し、体育祭当日に向けての意欲向上、職員のコミュニケーションを深める場を設定します。終了後は、勤務超過分の割り振り変更等をして一斉に退勤させます。管理職が工夫すればすぐ実践できる対策の一例です。

またテスト前等の部活動中止期間には、勤務時間の割り振り変更をして早めに退勤できる日を設定します。これは一斉に行うこと。個人対応にすると遠慮して退勤しない状況が生じます。忙しい時期こそ、心と体を休ませる時間を確保し実践することが大切です。

Q2：秋以降、年度末にかけて起こる教員のメンタルヘルス不調の特徴とは。

学級担任の場合、秋以降、児童生徒が「他学級との違い」や「学校行事に取り組む姿勢」等について、他の教員と比較する機会や場面が多くなります。そして、その優劣を直接、間接に担任に伝えるようになります。加えて、保護者からも同様の指摘をされると、自信が揺らぎ良い評価を得ようと無理をし、働く時間が超過し、メンタルに不調をきたします。専科教員等の場合、同僚にも相談できず一人で抱え込んでしまうケースがあります。

学級担任は「学級経営」と「保護者対応」。専科教員は「教科指導」が代表的な不調の原因です。当然ですが「生徒指導」は年間を通して〝メンタル不調の最大要因〟であることを忘れてはなりません。

Q3：どのようなタイプの教員がストレスを抱えやすいでしょうか（個人の性格や立場をふまえて）。

ストレスを抱えやすい教員＝メンタルに不調をきたし易い教員と考えておく必要があります。では、どの様な事がストレスになるのでしょうか。職場における立場から考えると、（1）新採用者＝理想と現実のギャップ、荒れた学校への着任等（2）既往歴＝以前に病気休暇・休職の経験がある場合、就職以前にメンタル系疾患にり患している場合等（3）家庭環境等＝親族の死・婚姻・転居・住居の新築等、人生の大きな節目の場合等が考えられます。

管理職が教職員の公私全てを把握するのは不可能なので、職場環境がストレッサーとならない配慮と、ストレスを抱えやすい状況か否かを見極める目と心を持つことが大切です。

Q4：学校長同士の交流で得た気づきがあれば教えてください。

管理職が十人いれば十通りの学校経営があり、能力・個性・職歴も十通りです。A校で成果をあげた方法がすべての学校で通用するとは限りません。しかし対策に取り組まなければ、毎年構成メンバーが変化する学校では、職場環境が改善するより悪化するリスクの方が大きくなります。

校長はすべての最終責任者です。メンタルヘルス対策を最優先で取り組まなければならない学校ばかりではありません。メンタルヘルス対策の交流では、話の焦点を絞り、メンタルの課題を抱えた教職員を批判する姿勢や、自分には関係ないとの無関心な姿勢に陥らない配慮をしつつ交流することが大切です。

……

筆者＝多田出正（ただいまさし）日本教職員メンタルヘルスカウンセラー協会常任理事、公立中学校スクールサポーター、順天堂大学国際教養学部非常勤講師、元公立小・中学校長

刊・島・視・界

ネット上のトラブルでは子供が被害者・加害者どちにもなり得る可能性から、保護者の懸念は大きい。しかし教員の懸念には、睡眠不足など生活習慣の乱れが、トラブルへの懸念を上回った▼東京都小学校PTA協議会の「保護者と先生の意識調査2017」で、ネット利用による「生活習慣の乱れ」への懸念は、教員71％に対して保護47％だった。4年前の調査で同じ質問項目の結果は教員18％、保護者15％。わずかな間に生活習慣の乱れへの懸念が高まったことが分かる▼国立青少年教育振興機構が8月に発表した「青少年の体験活動等に関する意識調査・28年度調査」では、自然体験や生活体験が豊かで自立的行動が身についた者ほど、1日の携帯電話・スマートフォン利用時間が短い傾向が顕著。3時間以上利用の割合は自律性が高い者が25％、低い者は45％。1時間未満では、低い者が13％しかなかったが、高い者は28％で2倍の差があった▼同調査の豊かな自然・生活体験とは、海や川で泳ぐ、虫を捕まえる、木に登る、タオルや雑巾を絞る、ナイフや包丁を使う、お手伝いといった、少し前の世代までは日常のこと。特殊な体験には思えないが、現在では意図的な環境づくりが必要なようだ▼そんな中で注目したいのはお手伝い。いつでもどこでも実行できる体験。同調査を始めて18年間、増えている明るい材料だ。

「教育家庭新聞」購読申し込み書

「教育家庭新聞」は毎月第3週に発行します。郵送でお届けします。電話・FAX、またはHPからもお申し込みいただけます。
購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるid とパスワードをお届けします。
1. 電話 03・3864・8241（弊社販売部）　2. FAX 03・3864・8245
3. ホームページアドレス http://www.kknews.co.jp/　（1部 450円）

お申し込み書（年間10回4500円）5・12月号が休刊です

お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　－　）	
連絡先	電話　（　）	お支払方法 ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。
	FAX　（　）	

防災教室
災害食がわかる本
こども自身が災害について意識し、もしもの時に身を守るために。
今泉マユ子 著
定価(本体3,800円+税)
巻末に非常時のそなえチェックリスト収録！
なにを、どうやってそなえる？
●B5判上製
●112ページ
●NDC369
●小学校中学年から
理論社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-6264-8890 FAX.03-6264-8892

丸善出版
都道府県別の気候の特徴をわかりやすく解説
日本気候百科
日下博幸・藤部文昭 編集代表
吉野正敏・田林　明・木村富士男 編
A5判・516頁　定価(本体20,000円+税)
日本の気候は熱帯から亜寒帯までを含み地域ごとの気候の大きな違いがある。より詳細に日本の気候を知るために、その特徴をさまざまな要因から解説し、国内の気候の違いを細かく網羅。日本の気候、風土の豊かさを知る手掛りとなる一冊。
数式を使わずに大気物理の本質をつかめる
気象と気候のとらえ方
―きまぐれな大気の物理を読み解く―
保坂直紀 訳
A5判・336頁　定価(本体3,400円+税)
なぜ穏やかで安定した天気と激しい雨を降らす不安定な天気があるのか。最新のスーパーコンピューターで計算した天気予報が外れることがあるのはなぜか。天気に関わる素朴な疑問、その背景にある物理を、数式を使わずに説明。
〒101-0051 東京千代田区神田神保町2-17
☎03-3512-3256　FAX03-3512-3270
https://www.maruzen-publishing.co.jp

食から始める国際理解
絵本 世界の食事 全20巻
世界各国の一般家庭の朝昼晩、1週間、四季の食事を家族の暮しぶりやその国の風土、産業、文化、習慣などとともに描く絵本。その国の代表的な料理も紹介。
①フランス　②インド　③韓国　④イタリア
⑤メキシコ　⑥ドイツ　⑦ブラジル　⑧中国
⑨タイ　⑩トルコ　⑪モンゴル　⑫フィンランド
⑬ベトナム　⑭スペイン　⑮ペルー　⑯ポルトガル
⑰インドネシア　⑱ロシア　⑲モロッコ　⑳イギリス
文：銀城康子　絵：高松良己ほか
全20巻　AB判32頁　NDC590
各巻●2500円＋税　20巻揃●50000円＋税
農文協 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1
http://shop.ruralnet.or.jp/
☎03-3585-1142 / FAX03-3585-3668

わたしの森に
ISBN978-4-7743-2796-9
詩人 アーサー・ビナード×
絵本作家 田島征三が
初コラボレーション！
一匹の雌マムシの目で見た雪国の春夏秋冬、命のエネルギーを描いた絵本。
●幼児から　●本体1,400円＋税　●A4横判・32ページ
くもん出版
〒108-8617 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル13F
TEL03-6836-0301　http://kumonshuppan.com/

教育学を学ぶ意味ってどこにあるんだろう？
シリーズ●大学生の学びをつくる
わかる・役立つ
教育学入門
植上一希・寺崎里水 編
A5判・1900円
「非暴力」の変革者たちの足跡を子どもたちに
非暴力の人物伝（全5巻）
①マハトマ・ガンディー
阿波根昌鴻（あはごんしょうこう）
支配とたたかった人びと
たからしげる・堀切リエ 著
②チャップリン
パブロ・ピカソ
表現の自由をまもった人びと
山口 理 著
46判
各巻1800円
小学校高学年から
東京文京本郷2-27 大月書店 電話03-3813-4651
otsukishoten.co.jp（メルマガ配信中）税別

子どもから大人まで楽しめる本！
今年(2018年)の中秋の名月は9月24日(月)！
月学
伝説から科学へ
監修／縣秀彦　著／稲葉茂勝
B5上製　56頁　本体1,800円+税 978-4-905530-68-8
科学的に「月」を解説するだけでなく、俳句・随筆・百人一首に出てくる「文学に見る月」についても紹介しています。
今人舎
〒186-0001 東京都国立市北1-7-23
TEL.042-575-8888 FAX.042-575-8886
http://www.imajinsha.co.jp/
Twitterはじめました。